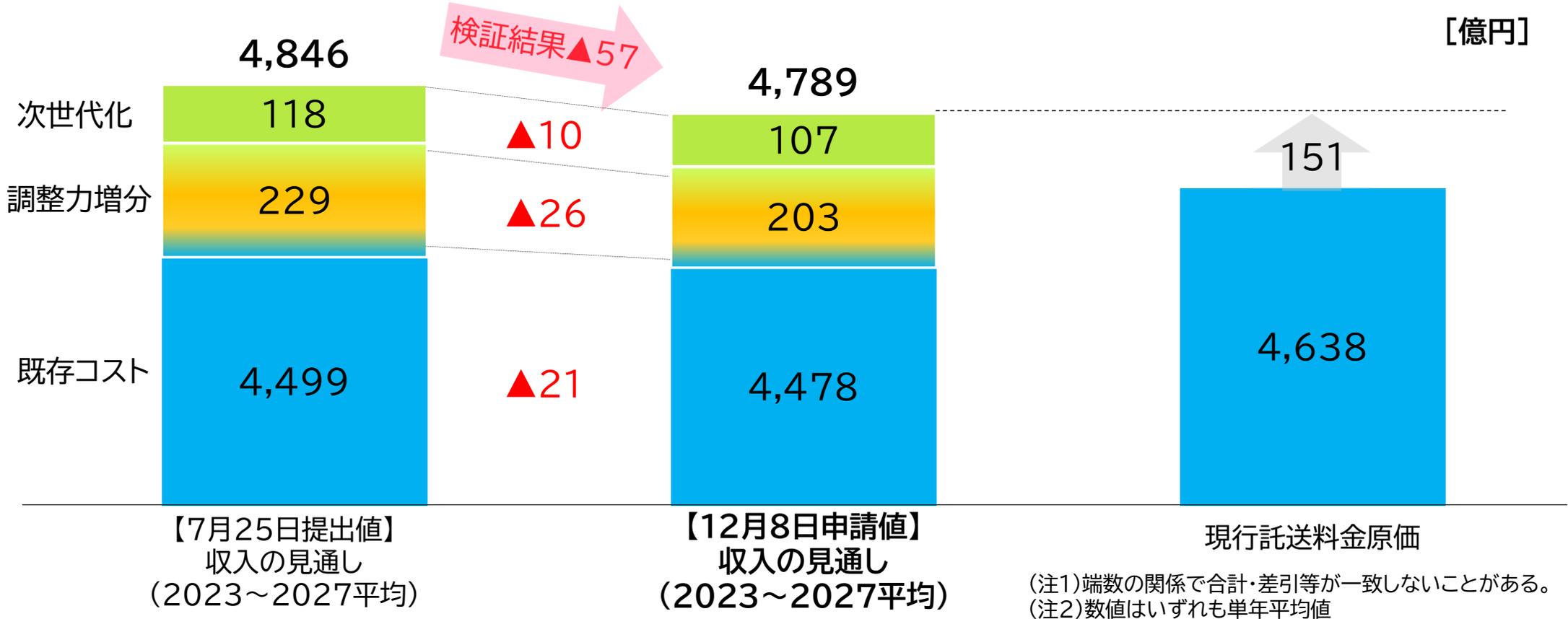


- 託送供給等に係る「収入の見通し」の提出(7月25日)以降、経済産業省の審議会(料金制度専門会合等)において検証が行われ、11月28日に検証結果が示されました。
- 検証の結果、7月25日に提出した収入の見通しと比較して57億円/年の減となる4,789億円/年(5年間平均)となりました。これは、現行の託送料金原価と比較すると151億円/年の増となります。



## 【検証結果を踏まえた主な減少要因】

- ・次世代化費用の減(▲10億円) : 検証結果に基づく一部費用の区分変更(次世代化⇒既存コスト)等によるもの
- ・調整力費用の減(▲26億円) : 需給調整市場に係る調整力調達費用の算定諸元の補正等によるもの
- ・既存コストの減(▲21億円) : 統計査定および効率化係数適用による設備投資関連費用の減額等によるもの

# 「収入の見通し」の申請概要について

- 今回、承認申請を行った収入の見通しを基に、一般送配電事業託送供給等約款料金算定規則の内容に即して特別高圧・高圧・低圧の電圧別原価等を算定した結果、下表のとおりとなりました。

## ■ 前提需要および電圧別原価

	需要[億kWh]	①7月25日提出 原価[億円]	②12月8日申請 原価[億円]	検証前後差(②-①)[億円]
特別高圧	200	469	463	▲5
高 圧	306	1,497	1,476	▲21
低 圧	265	2,881	2,849	▲31
合 計	771	4,846	4,789	▲57

(注)端数の関係で差引が一致しないことがある。

## ■ (参考)1キロワット時あたり平均単価

【7月25日提出】

[円/kWh]

	①単価の見通し	②現行収入単価*	差引 ①-②
特別高圧	2.35	2.26	+0.09
高 圧	4.89	4.66	+0.23
低 圧	10.86	9.76	+1.10

【12月8日申請】

[円/kWh]

	③単価の見通し	②現行収入単価*	差引 ③-②	検証前後差 ③-①
特別高圧	2.32	2.26	+0.06	▲0.03
高 圧	4.83	4.66	+0.17	▲0.06
低 圧	10.75	9.76	+0.99	▲0.11

※現在適用されている託送料金の単価が継続した場合に想定される収入を基に算定した単価